



平成28年5月
第30号

伊佐市 議会だより



平成28年熊本地震で被害に遭われた皆さまに心からお見舞い申し上げます。
また被災地の一刻も早い復旧を、お祈り申し上げます。

熊本県熊本市龍田西小学校にて災害派遣活動をしている水道課職員（4月18日）

目次

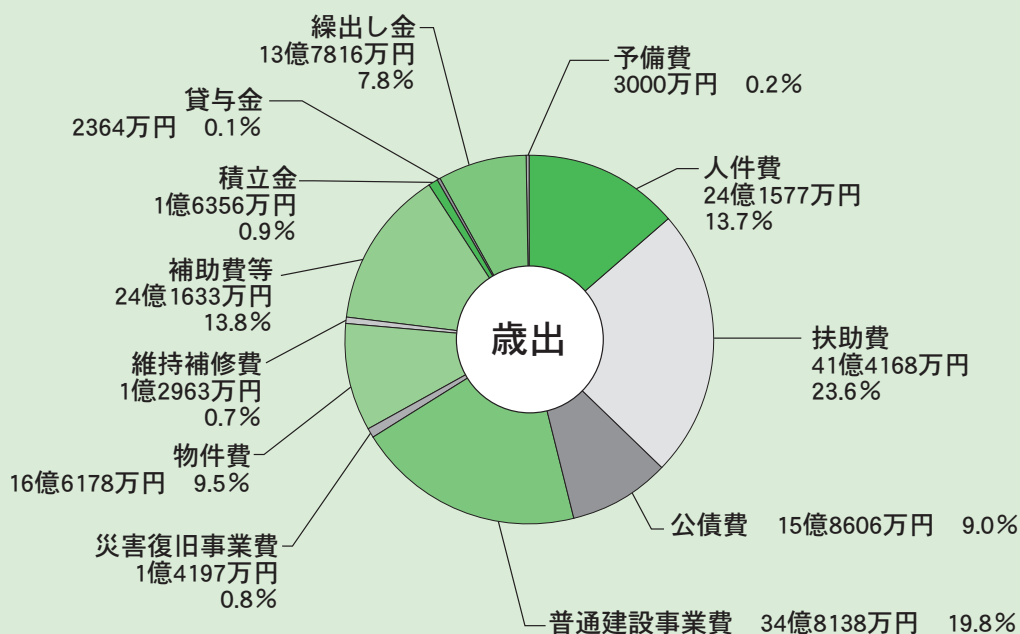
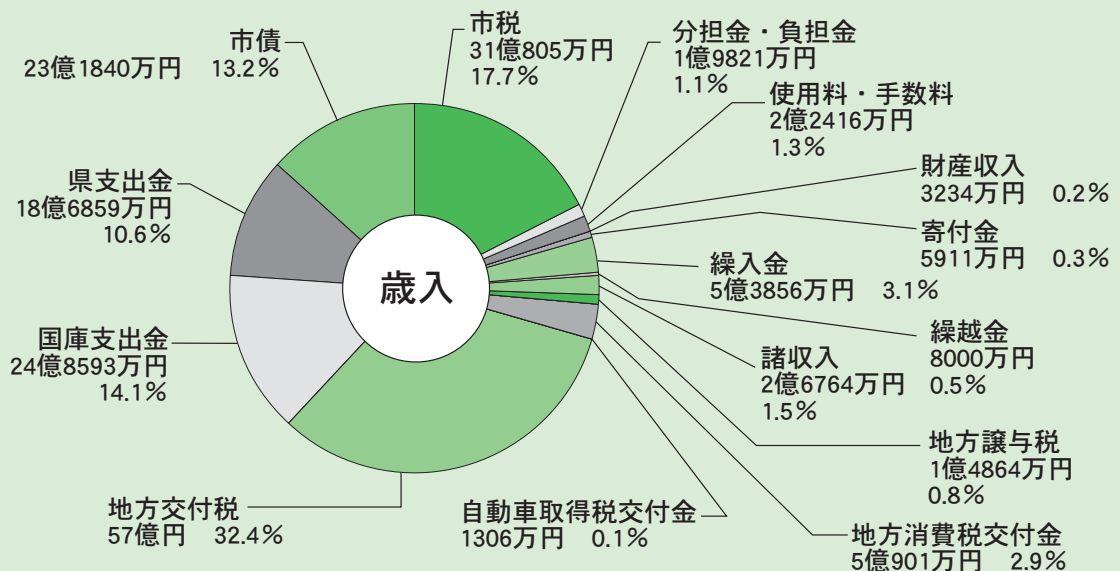
●当初予算・事業関係	2
●委員会報告	6
●議決結果	8
●総括質疑・表決結果・請願・陳情・意見交換会(団体募集)	10
●請願・陳情	11
●一般質問	12
●議会活動	18
●編集後記	19
●第30号記念クイズ	20

い~な こんな 思いやり のある街 伊佐市 175億7千万円 可決

3月定例会は、2月26日から3月25日までの29日間の会期で開きました。

当初予算のキーワードは

「人口」・「教育」・「産業」・「健康(幸)」・「安心」



一般 会計

平成28年度一般会計予算

「伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」関連	100事業	26億2,500万円
基本目標1 交流人口の増加から定住人口を増やす	20事業	1億2,300万円
基本目標2 教育環境の充実	19事業	1億1,700万円
基本目標3 6次産業化の推進	16事業	1億3,300万円
基本目標4 健幸づくりスポーツの推進	6事業	1億1,700万円
基本目標5 安心して子育てできるまち	39事業	21億3,500万円

■当初予算総括表■

【概数で表示】

会 計		平成 28 年度 予算額 (A)	平成 27 年度 当初予算額 (B)	増減 (A) - (B)
一 般 会 計		175.7億円	176.4億円	△0.7億円
特別会計	国民健康保険事業	46.4億円	48.0億円	△1.6億円
	介護保険事業	31.8億円	32.9億円	△1.1億円
	介護サービス事業	0.26億円	0.22億円	微増
	後期高齢者医療	4.6億円	4.4億円	0.2億円
	簡易水道事業	0.5億円	74万円	0.5億円
	農業集落排水事業	1.7億円	1.8億円	微減
水道事業会計	収入	5.3億円	6.2億円	△0.9億円
	支出	6.4億円	7.7億円	△1.3億円

■一部事務組合予算■

【概数で表示】

伊佐市が参加している 主な一部事務組合	当初予算	伊佐市負担金
伊佐湧水消防組合	776,562,000円	492,777,916円
大口地方卸売市場管理組合	2,026,000円	1,386,000円
伊佐北始良火葬場管理組合	282,818,000円	155,252,000円
伊佐北始良環境管理組合	849,400,000円	466,649,000円

平成28年度 主な事業

畜産に係る未活用の牛舎等を調査 60万円

明光学園高校の「そん出会い、牛さあつなぎもす“プロジェクト」の可能性を探るため、未活用の畜産資源を調査する。

コミュニティ協議会の運営支援 3,500万円

校区コミュニティ協議会の運営を支援するため、活動に必要な人件費及び事務経費を補助する。

ふるさと納税者への返礼 1,900万円

ふるさと納税（1万円以上）をされた方にお礼として、伊佐市の特産品「ふるさとからの贈り物」を送付する。

伊佐米、焼酎、黒豚、黒牛、チーズ等

伊佐の特産品 29品目

H28 見込 5千円×3,250人 1万円×100人
1万5千円×50人 2万5千円×20人
応援寄附金見込 3,700万円

新規就農者の育成を支援 1,700万円

・青年就農者給付金（経営開始型）（県 10/10）
11人 × 150万円

売れる野菜の新規栽培と面積拡大の支援 200万円

- ・かぼちゃの栽培助成
新規栽培又は面積を拡大する農家が導入する資材及び苗に要する経費に対し補助
- ・金山ねぎ面積拡大補助
新規栽培又は面積を拡大する農家の出荷調整に要する経費に対し補助
- ・ゴボウ面積拡大補助
新規栽培又は面積を拡大する農家の栽培に要する資材及び種子の購入に要する経費に対し補助

特定優良種雌牛の保留導入を促進 1,400万円

JA 北さつま管内で行われる子牛品評会において、保留牛及び秀賞牛に選定された牛を保留導入することにに対し補助する。

（導入）価格上位の3位の牛 20万円
4～7位の牛 15万円

（自家保留）保留牛に選定された牛 16万円
秀賞牛に選定された牛 8万円

重留多目的広場の管理 900万円

重留地区多目的広場を花公園として整備・運営管理を委託する。

鳥獣被害防止総合対策事業（国庫補助事業）

7,100万円

・鳥獣被害防止等緊急捕獲対策（捕獲報償を8,000円上乗せ）560万円

捕獲報償（狩猟期外）シカ 350頭×8,000円
イノシシ 350頭×8,000円

・鳥獣被害防止総合対策（ハード事業）
6,400万円

シカ用電気柵 248,000円×49基

シカ・イノシシ用ワイヤーメッシュ
8か所 29,000m

有害鳥獣の捕獲（市単独事業） 1,200万円

農林作物への被害対策として市有害鳥獣対策協議会の承認を得て有害鳥獣捕獲を実施する。

捕獲報償（狩猟期）シカ 600頭×3,000円

（狩猟期外）シカ 600頭×7,000円

イノシシ 400頭×6,500円

・鳥獣被害防止施設整備（市単独事業）370万円

イノシシ等からの鳥獣害を防止するための施設整備に対し補助する。

イノシシ用電気柵 42,000円（1基当たり）×10基

シカ用電気柵 81,000円（1基当たり）×40基

6次産業化を支援 200万円

国の6次産業化事業の補助を受けない農林漁業者等の新商品の開発や販路開拓・拡大を支援する。

肉用牛のブランド化を推進 100万円

伊佐市産の子牛を購入した市内肥育農家に対しその購入費用の一部を助成する。

1頭当たり：2万円 購入数見込：50頭

竹林資源の活用 1,000万円

特色ある特用林産物の産地を育成するため、放置竹林の竹林資源活用を支援する。

竹林整備支援事業補助金（竹材買取り額上乗せ補助金）

2円/kg 見込：1,000t 200万円

竹林の利活用に関する調査（国 10/10）800万円

小水流団地の建替（H27～H29）

2億4,500万円

公営住宅長寿命化計画に基づき小水流団地の老朽化へ対応する。H28は建設工事を開始する。

事業実施期間：H27～H29 総事業費：4億6,000万円
H27 事業費：8,400万円

内容：解体・擁壁側溝入替工事、移転補償

H28～H29 事業費：3億7,300万円

内容：建設工事、工事監理



伊佐市の予算どう活かす？

伊佐北始良火葬場の炉改修費用を負担

1億4,100万円

伊佐北始良火葬場管理組合が実施する火葬炉改修（H27～H28）の費用を負担する。

事業費 3億2,000万円
負担割合 伊佐市 57.10% 湧水町 21.32%

汚泥再生処理センター施設整備

6億7,000万円

H28はプラント建設工事を継続して実施する。

事業実施期間：H23～H29

総事業費：29億6,700万円

H27～H29事業費：26億7,300万円

内容：実施設計・プラント建設工事・性能検査

橋梁長寿命化（橋りょう補修）1億4,300万円

五反田橋、中村橋、金山橋、荒瀬橋、松崎橋、楠本橋外21橋

大口中央中学校のプール改修 2億400万円

体育施設の整備 1,400万円

大口地区体育施設（駐車場排水路、総合体育館バスケットゴール設置、市営プールろ過機補修、テニスコート表面整備・コートライン改修）、農村公園（グラウンド不陸修正）

福祉タクシー利用一部助成 3,000万円

交通弱者である高齢者の通院・買物・公共施設等へのタクシー利用を助成する。

対象者（75歳以上の高齢者及び障害認定されている方）
約6,800人

年金生活者等支援臨時福祉給付金 【新規】

・低所得高齢者向け 1億8,900万円

給付見込み 対象者：6,300人

給付額：一人当たり30,000円

・障害・遺族基礎年金受給者向け 3,000万円

給付見込み 対象者：1,000人

給付額：一人当たり30,000円

木造住宅整備促進を継続（H24～H29）

2,000万円

商工業の活性化と雇用の維持及び木材利用の促進を図るため、市内業者を利用して自ら居住する木造住宅を新築あるいは増改築した場合に、対象経費の10%を助成する。

奨学金の貸付

2,400万円

経済的理由により就学が困難である者に対し学費を貸与することにより有用な人材を育成する。

継続：28人 新規：15人

・大学進学奨励金（大口高校）【H26～H30】

670万円

（参考）平成28年2月16日現在

国立大学合格者数8人（100万円該当 1人）

・大口高校進学指導連携【H26～H30】

250万円

・明光学園運営補助 180万円

・明光学園生徒確保 1,150万円

・魅力ある高校づくり補助（大口高校・伊佐農林高校・明光学園）300万円

・県立高校通学費補助（大口・伊佐農林）

370万円

・原付通学準備補助（大口・伊佐農林・明光学園）

【新規】 65万円

・下宿費補助（大口・伊佐農林・明光学園）

【新規】 48万円

・技能資格取得補助（伊佐農林）

【新規】 30万円

保育所・認定こども園の運営を支援

12億8,800万円

平成28年度措置児童数見込み 延べ11,866人（月平均989人）

措置数 H26 延べ10,998人（月平均917人）

H27（見込）延べ11,876人（月平均990人）

※ 地方消費税交付金の消費税率引上げ分の一部を充当

・第3子以降の保育料無料化（H27～）3,000万円

国の基準に加えて第3子以降の保育料無料化を実施する。

（保育に係る伊佐市単独の支援）

・地域による子育てをコーディネート 300万円

伊佐市総合交流拠点施設「e-Gaなんちゅう」に地域子育てコーディネーターを配置し、地域高齢者や地域住民、障害を持つ人など、多様な人の交流・体験事業を実施する。子育て世代と地域をつなぎ、子育てにやさしいまちづくりを推進する。

各委員会報告

主な質疑と内容

企画政策課

**特定公有財産取得基金
1億5千万円**

Q 庁舎建設は。

A 財源をどうするのか
がポイントになる。合
併推進債を考えると、平成34年度くらい
までにはつくらないと
いけない。この4月から
具体的な検討をしてい
く。

水道課

**国道267号バイパ
ス配水管新設工事**

Q 場所はどこか。

A 木ノ氏集落内の配水管
事業を行う予定である。

議会事務局

**議会映像マルチメ
ディア配信サービス**

Q どのような事業か。

A 議会議中継は、現在パソ
コンでしか見られない。
この事業で、タブレット
ト・スマートフォンで議
会の生中継が見られるよ
うになる。

総務産業委員会

建設課

**委託費・工事費
2億円**

Q 具体的な内容は。

A 64橋の定期点検委託と
17橋の補修工事を予定。

農政課

**優良種雌牛保留導
入事業
1400万円**

Q 補助額はどうなるの
か。

A 自分の牛を保留される
分は、補助金を2割カッ
ト。購入される分は、価
格が非常に高いので、こ
れまでの上限20万円を補
助。

伊佐PR課

**ふるさと納税歳入
3700万円**

Q ふるさと応援寄附金を
増額する手立ては。

A 返礼品は昨年11月まで
4品。現在は30品目で
（※）ふるさとチョイス
加入により伸びてきてい
る。6月からは、（※）
クレジット決済を取り入
れ納税を増やしていく。

農業委員会

**農地利用最適化推進
委員について**

Q 人数と報酬は。
A 定数は20人。報酬は、
月額4万円程度を考えて
いる。

※ふるさとチョイス
様々な地方自治体のふる
さと納税を集めたインター
ネットホームページ。
※クレジットカード決済
消費者が、伊佐市のふる
さと納税を選んだ際、クレ
ジットカード決済を行う事
で、振込などの手間を省き、
返礼品を素早く受け取る事
ができる。

**電源立地等対策交付金
478万円**

Q 交付金をどのように活
用するのか。

A 防災対策事業として、
発電機25台を避難所等
に。障害スポーツ育成支
援事業でテント10張り、
体育施設運営事業で芝刈
り機1台を予定してい
る。



文教厚生委員会

環境政策課

**汚泥再生処理センター
施設整備6億7千万円**

Q 建設工事及び計画は。事業計画は予定通り進んできている。平成28年度は引き続き建設工事を実施する。29年度でプラントを建設し30年度に予定通り稼働する。

A 建設工事及び計画は。事業計画は予定通り進んできている。平成28年度は引き続き建設工事を実施する。29年度でプラントを建設し30年度に予定通り稼働する。

子ども課

Q 保育料の国の軽減の変更は。更には。

A 国も保育料の無料化事業を打ち出している。年収が360万円以下で、年齢は18歳未満に限らず長子から数えて2番目3番目を助成の対象にする。

子ども発達支援センター・子育て支援センター19300万円

Q 障害児の放課後等のデイサービス事業等は。

A 放課後等デイサービスは伊佐市で2か所で行っている。利用者も増えている。

福祉課

**年金生活者等支援臨時福祉交付金
1億8900万円**

Q 事業内容は。

A 低所得の高齢者に今年度臨時的に一人当たり3万円支給する。対象者は6300人程度になる。

住居確保給付金

Q 事業内容は。

A 平成27年4月から施行する生活困窮者自立支援法に基づくもので、失業等で住居を失うおそれがある方等に住居の確保を

支援する制度である。

教育委員会総務課

**大口中央中プール
改修2億4千万円**

Q プール改修の概要は。

A プールの改修事業は15m×25mの本体と、トイレ、更衣室等を含めている。プールの材質はFRPである。

委託費2700万円

Q 事業内容は。

A 湯之尾地区の菱刈カヌー競技場にカヌー艇庫を建設するための設計費である。

学校教育課

**学力向上対策事業
230万円**

Q 事業内容は。

A 28年度は学力検査を12月に全学年実施する。

英語教育強化地域拠点事業153万円

Q 事業内容は。

A 27年度から3か年の計画で取り組んでいる。2020年に小学校の5・6年生の外国語活動が英語教科に変更になる。そのための研究事業である。

社会教育課

ふるさと学寮事業内容は。

A 2校区を除いて全校区が行う。社会教育指導員等を配置して横の連絡を取って、コミュニティとの連携もとっていく。

伊佐市郷土芸能保存会補助金180万円

Q 事業内容は。

A 市内・外に出演した場合の補助金と、各団体が活動した時の補助金である。

学校給食センター

**備品購入費
32万4千円**

Q 事業内容は。

A 食材保管庫のパン箱と穴明ホテルパン調理バットを購入する。



▲穴明ホテルパン調理バット

市民課

**隣保館運営事業
996万円**

Q 事業内容は。

A 大口富士福祉館と菱刈人権文化センターの報酬や各教室の講師謝金、県隣保館連絡協議会負担金である。

健康長寿課

**老人施設入所措置事業
2億5240万円**

Q 事業内容は。

A 65歳以上の方で居宅で養護を受けることが困難な人の老人ホームの入所措置費である。

文化スポーツ課

**備品購入費
246万円**

Q 事業内容は。

A AEDを新規に3機購入、また、2機更新する。また、乗用草刈機、ワイヤレスメガホンを購入する。

**介護予防拠点施設費
5579万1千円**

Q 事業内容は。

A 大口元気こころ館と総合保健福祉センター（まごし館）の委託料等の施設管理費である。

議 決 結 果 一 覧 表

議案番号	件 名	議決結果
1	専決処分の承認を求めることについて	承 認
2	平成 27 年度伊佐市一般会計補正予算（第 8 号）	原案可決
3	平成 27 年度伊佐市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
4	平成 27 年度伊佐市介護保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
5	平成 27 年度伊佐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
6	平成 27 年度伊佐市簡易水道事業会計補正予算（第 2 号）	原案可決
7	平成 27 年度伊佐市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
8	平成 27 年度伊佐市水道事業会計補正予算（第 3 号）	原案可決
9	平成 28 年度伊佐市一般会計予算	原案可決
10	平成 28 年度伊佐市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
11	平成 28 年度伊佐市介護保険事業特別会計予算	原案可決
12	平成 28 年度伊佐市介護サービス事業特別会計予算	原案可決
13	平成 28 年度伊佐市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
14	平成 28 年度伊佐市簡易水道事業特別会計予算	原案可決
15	平成 28 年度伊佐市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
16	平成 28 年度伊佐市水道事業会計予算	原案可決
17	伊佐市行政不服審査会条例の制定について	原案可決
18	伊佐市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について	原案可決
19	伊佐市中高生連携推進事業基金条例の制定について	原案可決
20	伊佐市課設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
21	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
22	伊佐市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
23	伊佐市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例及び伊佐市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
24	伊佐市報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
25	伊佐市証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
26	伊佐市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
27	伊佐市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
28	伊佐市行政財産の目的外使用による使用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
29	伊佐市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
30	伊佐市肉用牛特別導入基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

議案番号	件 名	議決結果
31	伊佐市肉用牛規模拡大事業基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
32	伊佐市単独住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
33	伊佐市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
34	伊佐市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
35	伊佐市税条例等の一部を改正する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
36	伊佐市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
37	伊佐市総合振興計画後期基本計画の策定について	原案可決
38	平成 28 年度から平成 30 年度までにおける伊佐市の辺地に係る公共的施設の総合整備に関する財政上の計画策定について	原案可決
39	伊佐市過疎地域自立促進計画の策定について	原案可決
40	市道路線の変更について	原案可決
41	農業委員会委員の任命について	同 意
42	農業委員会委員の任命について	同 意
43	農業委員会委員の任命について	同 意
44	農業委員会委員の任命について	同 意
45	農業委員会委員の任命について	同 意
46	農業委員会委員の任命について	同 意
47	農業委員会委員の任命について	同 意
48	農業委員会委員の任命について	同 意
49	農業委員会委員の任命について	同 意
50	農業委員会委員の任命について	同 意
51	農業委員会委員の任命について	同 意
52	農業委員会委員の任命について	同 意
53	農業委員会委員の任命について	同 意
54	農業委員会委員の任命について	同 意
55	農業委員会委員の任命について	同 意
56	平成 27 年度伊佐市一般会計補正予算（第 9 号）	原案可決
57	平成 27 年度伊佐市一般会計補正予算（第 10 号）	原案可決
58	伊佐市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
59	伊佐市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
諮問 1	人権擁護委員候補者の推薦について	適 任
意見書 11	伊佐市に新設特別支援学校設置を求める意見書	原案可決

総括質疑

発言者	質疑事項
岩元 克頼議員	1 施政方針及び議案第9号 平成28年度伊佐市一般会計予算について
今村 謙作議員	1 施政方針について
柿木原榮一議員	1 議案第37号 伊佐市総合振興計画後期基本計画の策定について 2 議案第9号 平成28年度伊佐市一般会計予算について

第1回定例会（3月）の表決結果

賛否が分かれた議案のみ（○は賛成、●は反対、欠は欠席）

議案番号	議案	議員氏名														丸田和時				
		森山良和	今村謙作	山下和義	森田幸一	緒方重則	久保教仁	前田和文	諏訪信一	畑中香子	沖田義一	鶴田公紀	左近充論	柿木原榮一	福本千枝子		市来弘行	中村周二	岩元克頼	
9	平成28年度伊佐市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長職のため表決には参加しない。
23	伊佐市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例及び伊佐市特別職の職員の給与について	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○		
49	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
53	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

団体募集

議員との意見交換会

本市議会では、議会基本条例第7条に基づき、市議会及び議員の政策提案機能の強化及び拡大を図るため、意見交換会を開催します。については、下記のとおり意見交換会を行う団体等を募集します。

- 対象**
市民の団体、市民グループ等（ただし、意見交換会に参加できる人員が10人以上必要です。）
- 開催時期**
平成28年7月中旬から10月上旬まで（議会の会期中は除きます。また、議会日程等の都合により希望される時期に開催できない場合があります。）
- 意見交換会の内容**
あらかじめ提出していただいたテーマに基づき意見交換会を行います。
なお、時間は1時間～1時間30分程度とします。
- 開催場所**
原則、応募団体が希望される場所で開催します。なお、開催会場は応募団体で確保して下さい。
- 参加する議員**
提出していただいたテーマに応じ、複数人が参加します。
- 応募方法**
申込書に必要事項を記載して、議会事務局へ提出してください。なお、ファックス、メールでも提出できます。
※申込書は本市議会のホームページに掲載してあります。ホームページをご覧になれない場合は議会事務局にお問い合わせください。
- 応募期日**
平成28年6月1日から7月末日まで
- その他**
 - 開催の諾否については、議会運営委員会で協議し決定します。応募されたテーマの内容、開催時期によっては、お受けできない場合や意見交換の方法について協議させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 - 開催の諾否の決定後、開催日時や運営方法等を協議させていただきます。

《問合せ先》

議会事務局 TEL0995-23-1335 FAX0995-22-4983 E-Mail gikai@city.isa.lg.jp

請願と陳情の結果

	件名	提出者	紹介議員	付託先	結果
請願 6	伊佐市への新設特別支援学校設置についての請願書	伊佐市 下原 暁子	緒方 重則	総務産業委員会	採択

伊佐市への新設特別支援学校設置についての請願書

「子育てにやさしいまち」日本一をめざしている伊佐市は、福祉・教育・医療の連携の充実から、私たち市民が安心して子育てできるまちと実感しております。乳幼児健診・親子教室・子ども発達支援センター・トータルサポートセンター・保育所・幼稚園・教育委員会の連携は、県内だけでなく全国でも先進地と紹介されており、さらに充実していくことを願っております。

早期からの支援を受け、大きく成長している子どもたちですが、学齢期には教育条件整備についての様々な課題があります。その一つとして、地域密着型の特別支援学校が存在しないということです。開設 20 周年を迎える「伊佐市子ども発達支援センターたんぽぽ」は、地域に根ざした療育実践が行われております。しかし、出水養護学校は、発達支援機関として伊佐市のすべての子どもたちを支援できているとはいえない状況です。子ども一人ひとりの発達を保障するために、また、伊佐市独自のネットワークをさらに充実させるために、地域に根差した特別支援学校の設置を希望しております。

障害者差別解消法により、合理的配慮が義務化されます。子どもにニーズに応じた教育環境の整備は、当たり前のこととして考えられるべきではないかと思えます。そのためには、適正規模適正通学時間・高等部卒業後の進路を考慮した特別支援学校が必要です。

以上の趣旨に基づき、下記事項について鹿児島県知事への要望書提出を強くお願いいたします。

記

1. 地域の学齢期支援のネットワークの核となる特別支援学校の設置をお願いします。
2. 適正な規模で、障がいの種別に関わらず通える特別支援学校の設置をお願いします。
3. 子どもや親の送迎の負担の少ない 30 分以内で通える特別支援学校の設置をお願いします。
4. 地域居住地校交流だけではなく学校同士の交流も充実して、子どもたち同士の理解や地域の理解も深まるような交流教育を実施できるよう、特別支援学校の設置をお願いします。
5. 放課後活動の充実した学校生活を送ることができる特別支援学校の設置をお願いします。
6. 地域の理解を深め、働く場や生活する場の充実を目指した特別支援学校の設置をお願いします。
7. 高等部卒業後、ゆっくりじっくり学べる場を保障するために専攻科のある特別支援学校の設置をお願いします。

◎伊佐市議会は平成 28 年第 1 回定例会において採択した請願第 6 号を受け、県知事へ「伊佐市に新設特別支援学校設置を求める意見書」を提出しました。

(平成 28 年 4 月 7 日)



市民生活の 向上をめざし 一般質問 11人



**氷点下15.2度の
積雪量は
市長／市街地で27cm、山間部で1m
鶴田公紀 議員**

問

観測史上初の氷点下15.2度の最低気温を記録した。積雪量と凍結による水道・ガスの破損状況。農作物、家屋やハウスの倒壊被害。(国道や主要道路は建設業協同組合の積雪除去で交通遮断は軽減された) 交通規制や事故等について伺う。

答

積雪は市街地で27cm、山間部で50cmから1m。水道管の破損約2200件、ガスは920件。農作物は深ネギの被害額80万円、ゴーヤハウスや伊佐農林高校の実習ハウス倒壊。交通規制は幹線道路15本のチェーン規制、通行止めは山間部数箇所、物損事故は8件、内1件人身事故。

問

病院や施設関係の断水で給水車の出勤台数と箇所は。民間の協力体制と今後の対応は。

答

病院施設関係及び各校区及び民間会社等々に69回出勤。民間給水車配備、民間企業より12ℓ入りポリタンク48個寄贈。今後は地域防災計画を基に臨機応変に対応する。

健康寿命の引き上げ対策について

問

心身ともに健康でいられる健康寿命引き上げ対策を示せ。

答

26年12月から市高齢者元気度アップ・ポイント事業を実施している。現在会員登録が190人である。

問

元気老人のため公共施設の開放や各種講習会を実施することで、国保税の赤字補填に貢献できると思うが。

答

市交流拠点施設(南中跡地)は各種方面から利用されている。グラウンドは開放している。

その他の質問

○28年度施政方針のキーワードと地方創生の人口・教育・産業・健康・安心の視点について

鳥獣保護区のイノシシ・シカの駆除を

市長／駆除の指示を出すことにしている
左近充 議員



問 鳥獣保護区の周辺の水田や畑に、イノシシやシカが出没しているが、駆除の指示は出せないか。

答 狩猟期間中は、原則駆除の指示は出さないようにしている。鳥獣



保護区においては、農作物の被害届けがあった場合、現地を確認して、鳥獣保護員・猟友会長と協議した上で、駆除の指示を出すようにしている。

問 阿久根の処理場では、狩猟者が1頭持ち込むと、補助金のうち3千円と肉の4分の1をもらせる。解体料、流通対策として、3万円を市が補助している。また、内臓や骨の処理として、焼却場で焼くのに3千円出している。伊佐市の処理施設も、7千円と焼却料を出せないか。

答 現在、この処理で一番進んでいるところが、阿久根だと思う。伊佐市は、全ての肉を自前で販売するので、少ない頭数に限定しなければ処理施設そのものが、回っていかなくなり、経営が成り立たないこと等がある。伊佐市の処理施設で阿久根のような形は、現在のところは、難しいと考える。



国保の今後の運営は

市長／市民の理解を得て検討する

山下和義 議員

財政状況を説明し、28年度中に国保税も検討しなければならぬと思う。

生活弱者対策について

答 現状では市単独での支援は難しい。生活に支障を来す前に福祉課に相談していただきたい。

非課税世帯の子ども安心医療費が一部拡充された。もう一歩踏み込んで所得の少ない世帯に對してもするべきであると思うがどうか。

答 国保運営は、国等の補助金を除いたほかは基本的には保険税で賄わなければならないが、弱者世帯が多く不足分は一般会計から繰り入れしなければならぬ状態である。

問 28年度も2億円の繰り入れが予定されている。今後も繰り入れができるのか。

答 一般会計もそんなに余裕はない。毎年上限もなく国保会計の不足分を埋められない。市民に

答 全面的にはできないので、限られた予算の中でそういう方々に対してより良い方向に改正できるように内部で検討していく。

問 国民年金だけの高齢者は夫婦で生活しているときは何とか生活できるが、1人になったときに生活に困ることがある。

国民年金だけの高齢者は夫婦で生活しているときは何とか生活できるが、1人になったときに生活に困ることがある。

市の施設の電力自由化は

市長／自由化と仕組みについて検討

柿木原 榮 一 議員



問

2000年3月から進められた電気事業市場への新規参入規制緩和、市場競争を導入、電気料金の引き下げ、資源配分の効率化、サービスの更なる向上等で伊佐市として検討したことはないのか。

答

電力自由化に伴う地産地消型電力供給事業として、電力自由化と電力供給の仕組みを勉強及び検討している。職員の独自研修として電力の地産地消のみやま市、大木町のバイオマスプラントを視察している。

問

伊佐市の各施設の電気料金と経費削減からの検討はしているのか。

答

主な施設で年間、衛生センター 1800万円、まごし館 1100万円、ふれあいセンター・大口庁舎・給食センター 各800万円、リサイクルプラザで600万円使用し、28年度中に検討、方向性は示せる。

答

額面65000円分を50000円で30000セット、事務費は伊佐市商工会へ430万円補助金として交付。発行は、2日目の開始30分で完売。プレミアム率30%は、スピード感と消費意欲の拡大でよかつたと思う。

問

購入されたプレミアム商品券の未使用額とプレミアム商品券の購入等で苦情等はなかつたのか。

答

未使用額は、41万8500円。伊佐市と商工会に、販売日はいつなのか分からず、購入できなかったという苦情があった。



プレミアム商品券の検証

問

市民が購入したプレミアム商品券の内容と、県内でも飛びぬけて高いプレミアム率30%でよかつたのか。

問

平成28年度は、伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略を指針とする地方創生の取組み初年度であり、新たな未来へ向けた重要な年度と位置付けられている。人口ビジョンにおいて社会増減の改善に向けた対策は。



答

ピザを中心とした6次産業の創出、あるいはグリーン・ツーリズム振興によって、修学旅行者を初めとした若い方々の交流が増える。また曾木の滝を中心に観光客あるいは体験型やアウトドアを通して、若い世代が魅力を感じて楽しみ、学び、育つ交流するまちを考えやってみよう。15歳から24歳までの転入を中長期的に図ることができないのではないかと考える。短期的には、地元

わがまちの未来像は

市長／住みやすいまち

緒方重則 議員

の3つの高校に進学して、それが一番直近の可能性があることである。今回、大口高校・伊佐農林高校共に10数人入学者が増え充足率70%で昨年よりも両高校とも10%ぐらいいはアップしている。いかに高校を魅力化していくかに尽きるところ。

で数値でもって出ているので素直に有難く使っている。それを評価する方は、自分の置かれた場所、置かれた条件から価値判断するので人それぞれであろうと思う。そしてこのまちにずっと住んでいる人は、さほど住みやすいまちと思わないかもしれない。地理的条件で言うと、ハンデが多いまちであると思う。ただ、自然に恵まれいろんな市民活動をマスコミを通じてかなりアピールしてきたことが、不利な条件を取り戻す一つの活動であったと考える。教育・医療・福祉に関するところか情報網に載せ続けてアピールしていく。

問

「東洋経済新報社調べ」住みよさランキングにおいて2年連続で県内1位と評価されているが、現状において実感がなるとの声を多く聞く。交流人口の増加から定住人口を増やそうとするが、魅力あるまちづくりをするためには住んでみたいと思わせる取り組みも必要では。

答

住みよさランキングはデータに基づい

家族経営農家の支援を

市長／支援は必要だ

沖田 義一 議員



田である。気温の高低差が大きく美味しい伊佐米や野菜作りに適している。特に稲ワラは牛の粗飼料として最適であり、伊佐の子牛は全国的にも高い評価を得ている。伊佐市に一番適した農業形態は複合経営である。

問

国の農業施策は大规模農家、中核農家中心であり、大多数を占める家族経営等は対象外となっている。行政が自由に使える施策を行い、自治体の実情に合った補助金等を創設すべきではないか。

答

自給率を上げる、国土の保全、災害に備える、という事からも、農地山林を含めた保全が必要である。家族経営についても、農地が保全できる支援が必要である。

問

伊佐市の農業は、水田と畜産、あるいは野菜等を組合わせた複合経営が多数を占めている。この事について伺う。

答

伊佐市の農地は5000haであり、その内の3800haが水

答

26年度は、3万4051人中、外国人は33人、27年度は3万7942人中、外国人は212人であり、外国人は前年比6・4倍であり、年々増加すると思っている。観光地としては、曾木の滝が大部分である。

問

具体的な方策について伺う。

答

外国人が最も欲しいといわれるのは、WiFi（無料インターネット接続）であり創生総合戦略でもWiFi整備を掲げている。設置を急ぎたい。

問

外国人観光客の増加対策について

問

伊佐市での観光客の宿泊数とそのうち外国人の宿泊数を伺う。



園芸作物の産地化を

市長／JAと連携して進める

久保 教仁 議員

問

市では重点野菜10品目を指定し、市単独助成など施策を講じている。だが、作付面積・生産量・産出額ともに伸び悩み、農業産出額全体から見るとわずか2%でしかない。農業者へ施策の告知は・営農指導は十分なのかと思う。伊佐市の園芸振興にどう取り組むのか伺う。

答

園芸振興では、カボチャ・ネギ・ゴボウの新規栽培・面積拡大に助成。また、産地交付金として重点野菜①の4品目に反当たり4万5千円、重点野菜②の6品目が4万円支給。田んぼを畑地化し野菜が作れるようにする事業に、経費の75%を補助している。さらに、ネギとカボチャは、価格安定対策で基準値以下になった場合の価

格補填にも取組んでいる。安心して生産していただくため、今後も続けていきたい。JAとは常に連携をとり、作物に関する情報交換も絶えず行っている。

問

学校給食への野菜納入状況を分析すると、伊佐市園芸の実態が垣間見える。26年度の給食センターにおける、地元野菜の使用量は23・6%でしか

答

営農指導等も織り込んで、いつ・何を・どのくらい作れば等、検討していきたい。

平成28年度の園芸振興・主な伊佐市単独助成

(1) 重点野菜 (10a当たり)

	産地交付金	団地加算	最高単位
重点野菜①	45,000	18,000	63,000
重点野菜②	40,000	18,000	58,000

- ※重点野菜①
ネギ・かぼちゃ・水田ゴボウ・ニガウリ
- ※重点野菜②
トマト・いちご・おくら・ショウガ
じねんじょ・ジャンボインゲン

(2) 新規栽培者と面積拡大

- ◎金山ネギ (初年度限定)
◇苗代・機械導入費用・出荷調整手当の一部を伊佐市とJA北さつまが助成。
- ◎かぼちゃ
◇夏かぼちゃの新規栽培者に、トンネル被覆資材一式と苗代を伊佐市とJA北さつまがそれぞれ3分の1程度を助成。
- ◎水田ごぼう
◇ごぼうの栽培を開始する農家と、栽培面積を伊佐市が助成。拡大する農家に、マルチング資材と種子代を伊佐市が予算の範囲内で助成。

赤字の続く国保運営は

市長／今年は上げる検討をする

福本千枝子 議員



問 国保会計は基金を
取り崩し、平成24年
度から毎年多額の法定外繰
入（一般会計から）を行い、
国保税を上げたにもかかわらず
赤字が続く。要因は。
また、医療費抑制の施策は
取ってきたのか。

答

3年間で法定外繰
入額は、4億4千万
円になっている。先進医療、
C型肝炎治療薬が保険適応
になったこともあり、一人
当りの医療費、高額医療費
が増えてきた。減塩の食習
慣、検診、脳卒中教室、ダ
ンベル体操等に取り組ん
できた。

問

市民に赤字の状況
要因などを口頭で知
らせるべきだ。医療費削減
に成功した自治体に職員を
派遣するなど本気で取り組
むべきだ。平成30年には県
に移行するが、保険税は上
がるのか。

答

総会や花見等で話
す。先進地の情報を
集め、職員に企画させる。
国保税は安く、医療費は県
下でも高いので今年は上げ
る計画だ。



スポーツ振興と施設改修

問

総合グラウンドで
は夜間、県下一周、
女子駅伝選手と一緒に練習
している中学生ランナーは
使用料を払っている。免除
できないか。また、一般に
も無料開放できないか。

答

選手育成は非常に
重要である。特に中
学生や関係の方々の使用に
ついては検討する。

問

地方創生の目標に
スポーツ合宿の計画
がある。そのためには陸上
競技場のメインスタジアム
（更衣室、台所、2階の大
広間）の改修が必要ではな
いか。

答

築50年を経過して
いる。現在、整理整
頓ができていないので早急
に対応する。整備につ
いては市公共施設等総合計画で
協議する。



問

合併後の財政計画
と、実際の地方交付
税合計額との間に30億円も
の乖離がある。同額程度
のものが基金に積み立てら
れ、市民1人あたりの基金
保有額は県下ダントツ1位
である。計画と決算額との
間の大きな乖離について見
解を伺う。

答

国の地方財政計画
に基づき計画を立て
る。国の経済対策等により
変更があるため差が開いて
くる。読みが甘いというこ
とはない。

問

交付税を過少に見
積もって市民にとつ
て必要な施策が十分に行わ
れず基金としてため込まれ
たのではないか。多くの市
民が財政難のため要望が実
現しなくても仕方がないと

市民要望に応え財源 配分せよ

市長／基金は将来の市民のため

畑中香子 議員

思っている。市民要望をき
ちんと吸いあげ必要な部分
に配分すべきだ。

ある。

答

今後社会資本の老
朽化や道路・施設等
の改修が増加し、借金が
190億円程度になる。国
の経済も傾いており、10年
後の市民のために基金が必
要である。

子ども医療費拡充は

問

議会が中学校卒
業まで拡充すると
の陳情項目を採択してお
り、市民の会による署名は
3400人を超えている。
検討したのか。

答

子ども安心医療
は、入院以外は、年
1件〜2件の申請であり、
非課税世帯年3万6000
円に広げても拡充とは言
えない。子どもが親を気遣
い歯やお腹が痛くても言い出
せない状況もある。大きな
病気の早期発見で、命が助
かる事例は将来必ず出てく
る。真剣に検討せよ。

答

子育て、健全な財
政運営を任されている
立場から子ども安心医療
を拡充するとの検討結果で

募金活動について

市長／各自治会にお願いしている

議員 一 信 訪 誨



をコミュニティ協議会にお願いしている状況で、活動内容について市は関与していない。

問

募金の実施時期、参加している自治会数は。自治会を通じて募金活動をするようになった経過は。

答

278自治会中、緑の募金（2月1日～4月30日）223自治会、赤い羽根募金（10月1日～12月31日）271自治会、日本赤十字社員社費（5月1日～5月31日）271自治会

問

自治会活動の中に募金の種類はどのようなものがあるのか。

答

①緑の募金②赤い羽根募金③日本赤十字社員社費④伊佐市社会福祉協議会会費の四つの募金

公職選挙法改正について

問

公職選挙法が今年6月から施行され選挙権が18歳まで引き下げにより、有権者数は何人になるのか。

答

18歳男性75人、女性131人、19歳男性89人、女性86人、合計381人の有権者が増えることになる。

問

投票に行く周知は。

答

平成28年4月2日から平成29年4月1日までに18歳の誕生日を迎える高校生を含めた全員に選挙についてのチラシを4月に送付することを検討し、同じ時期に19歳の誕生日を迎える人にも同様にチラシを送付することを考えている。



選挙法改正の取り組み

市長／出前講座等に関心を高めたい

議員 一 幸 田 森

問

本年夏の参議院選から選挙権の年齢が、現在の20歳以上から18歳以上に引き下げられる。政治教育を充実させることは、早急に取り組む課題である。小・中学生における主催者教育はどのように取り組むのか。

答

当面は、模擬投票など体験型学習、出前講座を実施し、市議会を傍聴したりして、政治や選挙に対する関心を一層高め、主体的に社会に参画する態度を持つ児童・生徒にもって行きたい。

問

本市の高校生に、積極的に選挙に参加させるような施策は考えているのか。また、高校生を期日前投票事務や選挙時における投票立会人等の選挙

問

事務へ参画させることはできないか。

答

伊佐農林・明光学園高校では、出前講座を実施したい。一番身近に感じられるように、投票立会人等については、検討していきたい。

問

田中の起点から大

答

口酒造第2蒸留所手前までの区間は、大型車の通行が多くなっているが、幅員が狭く、対向車の離合に支障をきたしている。この整備計画はどのようなになっているのか。

問

この市道は幅員が2メートル以上の区間が928メートル、残り

問

大口酒造は、優良な地元企業である。特に仕込みの最盛期には、原材料のサツマイモを搬出入する大型トラックが多く、離合に苦慮している。拡幅整備等はできないか。

答

一級市道で改良済みであるので、改良済みの所を更にするということは、多額の予算を必要とするので、慎重に検討させて頂きたい。

議会活動

3月12日、春の市で、市議会議員による春の交通安全事故防止キャンペーンを行いました。交通安全のチラシとボールペンを配りながら、市民の皆さんに交通事故防止を呼び掛けました。



4月6日「春の交通安全運転」推進セミナー



4月15日「交通事故死ゼロを目指す日」啓発活動 伊佐人の波作戦



4月29日早朝から、ボランティアの方々と一緒に県立北薩病院敷地内の清掃作業に参加しました。平均年齢60歳超の議員たちが汗を流しながら頑張りました。

議会中継を自宅等のインターネットでも視聴できます。
(市議会の生中継や録画を映像配信しています)

【伊佐市ホームページ】

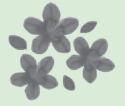
↓
【伊佐市議会】

↓
【議会インターネット映像中継】

大口庁舎・菱刈庁舎・ふれあいセンター・まごし館でも
議会ライブ中継 をご覧になれます。



編集後記



新年度がスタートし、1ヶ月が経ちました。伊佐市内においても、色とりどりの真新しいランドセルを目にするところですよ。

人口減少克服と地方創生を確実に実現するために、「伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定され当局より示されました。

伊佐市の人口は、現状のままでは2040年には1万8000人、2060年には1万2000人まで減少すると見込まれます。

この歯止めのために、2060年に1万5000人以上の人口を維持することを目標として設定し、人口減少と地域経済縮小の克服をしていくというものです。

その達成に向け、

- 1 「交流人口の増加から定住人口を増やす」
 - 2 「教育環境の充実」
 - 3 「6次産業化の推進」
 - 4 「健幸づくりスポーツの推進」
 - 5 「安心して子育てできるまち」
- を地方創生の基本目標に設定しました。

伊佐市は、人口減少や少子高齢化が進むなかでも活気あるまちづくりを進めることが重要であります。

このような情勢の中で、我々議会が果たすべき役割はますます重要なものとなっております。伊佐市議会としても地域の更なる発展と活性化に向けて共に取り組んでいかなければなりません。

私たち議員は、市民の代表として何をなすべきかを、原点を振り返りながら活動していきたいと思えます。

今後も市民と行政の架け橋となり、自立した伊佐市づくりを目指します。

議会広報特別委員会 森田 幸一

編集・発行責任者

議長
丸田 和時

議会広報等
特別委員会

委員長

今村 謙作

副委員長

緒方 重則

委員

森山 良和

畑中 香子

久保 教仁

森田 幸一

郵便はがき

8 9 5 2 5 1 1

お手数ですが52円切手を貼ってお出してください

伊佐市大口里 1888 番地
伊佐市役所 伊佐市議会事務局 行

平成28年 第2回定例会のお知らせ

○定例会は午前10時開会です。

6月

1日(水)	本会議(招集日)
6日(月)	本会議(2日目)一般質問
9日(木)	本会議(3日目)一般質問
13日(月)	本会議(4日目)一般質問
15日(水)	本会議(5日目)総括質疑
16日(木)	総務産業委員会
17日(金)	文教厚生委員会
24日(金)	本会議(最終日)

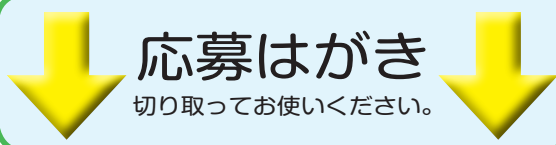
伊佐市議会だより

第30号記念クイズ

《ヒント》議会だより30号をよ〜く読んでください。

- | | | | | |
|-----|--------------------------|---------|---------|---------|
| 第1問 | 伊佐市議会の議員定数は。 | A 18人 | B 20人 | C 22人 |
| 第2問 | 女性議員の数は。 | A 1人 | B 2人 | C 3人 |
| 第3問 | 伊佐市議会議員の平均年齢は。 | A 40歳代 | B 50歳代 | C 60歳代 |
| 第4問 | 伊佐市の平成28年度予算額は。 | A 173億円 | B 175億円 | C 179億円 |
| 第5問 | 伊佐市議会だより30号掲載の一般質問者の人数は。 | A 10人 | B 11人 | C 12人 |

正解者の中から厳選なる抽選により、合計10人に下記の賞品を差し上げます!!
必ず、A賞・B賞選んで応募して下さい。



A賞

議長席に座って記念撮影ができます。



B賞

星座早見板と素敵な天体写真がもらえます!



※賞品イメージ

(当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます)

伊佐市議会だより【30号記念クイズ】

【解答欄】

- 第1問 A B C
 第2問 A B C
 第3問 A B C
 第4問 A B C
 第5問 A B C

【選べる賞品】

- A賞：議長席で記念撮影が撮れる権利
 B賞：天体セット

【住所】〒

【氏名・年齢（任意）】

【ご意見欄】

